

学術情報発信のための協力者会議（第3回）議事要旨

日時：平成16年3月2日（火） 13:30-15:30

場所：附属図書館会議室

出席者；

草刈館長、土屋教授、竹内助教授、伏見教授、松元教授、瀧口教授、正木教授、宗宮教授、森下教授、池上助教授、岩間国際交流課長、長岡研究協力課長

五十嵐事務部長、尾城情報サービス課長、加藤雑誌・電子情報係長、阿藪品雑誌・電子情報係員

（陪席）松島国際交流課専門職員

欠席者；

高木教授、京藤情報管理課長

資料

資料1．学術情報発信のための協力者会議（第2回）議事要旨（案）

資料2．千葉大学学術情報リポジトリ登録者申請書（案）

資料3．プロトタイプの改造について（案）

資料4．初期データ整備の進捗状況について

資料5．国立情報学研究所のメタデータ・データベースとの連携について

概要

・議題

1．前回議事要旨の確認

草刈館長から、資料1の内容について確認を求めた。

他の委員から質疑・意見等はなく、承認された。

2．千葉大学学術情報リポジトリ登録申請について

阿藪品係員から、資料2に従って説明があり、以下のような質疑・意見がだされた。

今後、必要に応じて修正を行い、平成16年度に招請予定のリポジトリに関する委員会において「協力者会議」の原案として提示し、承認を得る予定である。

【「運営指針」の内容変更】

・資料2では、「運営指針」の内容改正についての記述が無い。

=> 附則を設け、改訂履歴と日付を記載するスタイルにするのはどうか。

=> 当面は、本質的でない微細な改訂を容易に実施可能にするような内容を盛り込んでおいた方がよいだろう。

【第1項】

- ・積極的な登録を喚起するニュアンスが必要ではないか。
=> 登録振興については、PRなど運用指針以外の枠組みで行う予定である。
- ・「社会貢献」と「寄与」が読み方によっては二重表記と感じられる。
=> 文言を再考したい。

森下委員から、後日改定案が提示された。

『千葉大学図書館は、科学技術・学術審議会科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会情報科学技術委員会デジタル研究情報基盤ワーキング・グループによる答申（学術情報の流通基盤の充実について（審議のまとめ）平成14年3月12日）に基づき、千葉大学（以下、「本学」という。）において生産された電子的学術情報資源をすみやかに収集し、千葉大学学術情報リポジトリ（以下「リポジトリ」という。）に利用しやすい形で蓄積・保存し、これを学内外に無償で発信・提供することにより、学術研究の振興と社会貢献という両面からのニーズに応える。』

3. プロトタイプの改造について

加藤係長から、資料3に従い説明があった。席上特に意見等は無かったが、もしあれば今週中（3/2(火)～3/5(金)）に事務局に提出するものとした。

その後、期間内に意見等が出なかったため、資料3の方針に従い、平成15年度のシステム改善を行うこととした。

・報告事項

1. 初期データ整備の進捗状況について

阿籬品係員から、資料4に従い説明があった。

国立情報学研究所からサンプルデータを受領した件、自然科学研究科学務委員会が博士論文のリポジトリ登録について了承を得た件などが報告された。

また、正木委員から口頭で看護学部での学位論文電子化の取り組みについて報告があった。

- ・ワーキンググループを組織し、博論・修論の電子化・公開方針を検討中。
- ・プライバシーへの配慮等から電子化物の利用は当面学部内に限定する意向である。

2. 国立情報学研究所のメタデータ・データベースとの連携について

尾城課長から、資料5に従い説明があった。国立情報学研究所による千葉大リポジトリに格納したメタデータの収集実験（OAI-PMHによる）が成功したこと等が報告された。

3. その他

草刈館長から、本会議は今回をもって終了するが、16年度以降も同趣旨の委員会を附属図書館に設置予定である旨説明があった。

以上